広島大学病院ニュース

No.54 2020.4

ご自由にお持ち帰りください。

Hiroshima University Hospital News

福島へ継続的に医療支援

―東日本大震災から9年

ふたば医療センター附属病院で診療にあたる循環器内科の丸橋達也医師

派遣医師 復興の基盤担う

双葉地区に設置された「ふたば医療センター附属病院」の外観

ふたば医療センター附属病院

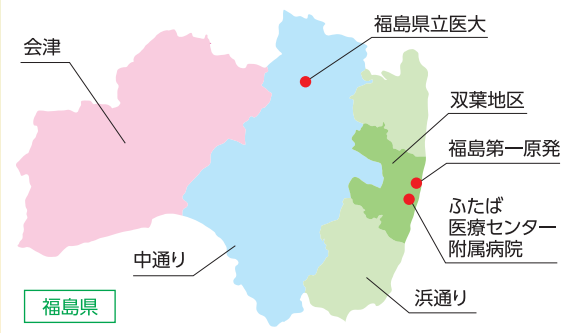
24時間診療の維持に協力

東日本大震災から10年目を迎えた福島県、まだまだ復興は道半ばです。いち早く支援に入った広島大学は、継続して緊急被ばく医療チームの派遣による医療支援など被災地の復興支援活動に協力しています。2016年4月には医師の派遣による診療支援のため広島大学病院内に「福島医療支援センター」を設置、同年10月からは福島県立医大が設置した「ふたば救急総合医療支援センター」へ医師を出向という形で派遣、2018年4月からは、双葉地域に建設された「ふたば医療センター附属病院」（福島県富岡町）での診療を支援しています。

双葉地域は太平洋側の浜通り地区で6町2村からなり、事故を起こした福島第一原発を含む地域。事故の影響で帰還困難地区も多く残っています。ふたば医療センター附属病院は帰還住民や除染作業員などのため双葉地区の2次医療の拠点にと福島県が設置しました。福島県立医大が医師を派遣するなど全面的に支援しています。

住民を対象に糖尿病セミナーを開く内分泌・糖尿病内科の佐川純司医師

福島県立医大に待機する多目的医療ヘリ



広島大学病院からは福島県立医大に3カ月交代で内科系6診療科の医師を派遣、これまで延べ14人が現地での医療に従事しました。また救急集中治療科の板井純治医師は2018年5月から3カ月おきに1カ月間、19年度からは毎月第3週に1週間、ふたば医療センター附属病院を中心に出向しています。2019年10月から3カ月間の出向を終えた総合内科・総合診療科の小林知貴医師は「震災から9年もたつと、広島では福島のことを考えることは少ないが、現地ではいまだに震災の影響は大きく立ち入り禁止の区域も多い」と厳しい状況に触れていました。

福島県立医大復興推進課では「帰還が徐々に進んでいく中で病院は基本的な機能の一つ。常に開いているという安心感が必要。365日24時間体制を維持するのは大変であり、医師派遣の協力は大変ありがたい」と感謝しています。

ふたば医療センター附属病院　谷川攻一院長から

広島大学は東日本大震災、福島第一原子力発電所事故後の医療対応において本県には多大なる支援をしていただきました。また、2016年、福島県立医科大学附属病院ふたば救急総合医療支援センターの設置に際して、広島大学病院は福島医療支援センターを開設し、その後4年間にわたって双葉地域の医療を支援していただいています。広島大学からの支援医師としては、内科系医師は消化器・代謝内科、呼吸器内科、内分泌・糖尿病内科、循環器内科、脳神経内科、そして総合内科・総合診療科から3カ月交代で、救急集中治療科医師には毎月第3週の1週間を支援していただいています。広島大学の皆様には心から感謝しております。

福島での診療の状況などを話す板井医師

2年間継続的に福島に出向している板井先生に現地の状況などを聞きました。

拠点を置く福島県立医大（福島市）からふたば医療センター附属病院までは車で1時間40分～2時間、高速が直通していないので結構かかります。ふたば医療センター附属病院では救急を主に担当しています。福島県は面積の広い県で、双葉地域は太平洋側の浜通りの真ん中に位置しています。このため県のドクターヘリとは別に多目的医療ヘリがあり、搭乗することもあります。ドクヘリが緊急時の重症患者を担当し、多目的ヘリは地理的不利を補うための患者搬送などに活用されています。

原発事故の関係で設定された帰還困難区域は順次解除が進んでいます。それでも帰還住民の数は多くはありません。外来で訪れるのは除染の作業員や原発関係の職員が目立ちますが、徐々に外来の住民も増えてきている印象です。ふたば医療センター附属病院の医師や看護師、スタッフを見ていると、熱い思いで復興に携わろうとしているのが分かります。それだけでも勇気づけられます。

順次進む住民の帰還に関して、医療の占める役割は大きいと思います。安心安全に暮らしていける環境の基礎となる部分です。救急医療はもちろん大切ですが、住民の健康管理も今後の課題です。高齢化が進み80～90歳代の方も多く、日本の将来を先取りしています。高血圧や糖尿病などでの重症化を事前に防ぐ対策も必要になっていくと思います。

広島大学病院　木内良明病院長から

本院は福島県の医療体制の整備にあたり、医師派遣による診療支援に対応するため、院内に「福島医療支援センター」を設置し、医師の出向に係る調整等を行っています。センターを起点に継続的に医師を派遣し、福島県の医療充実に協力しています。復興へ向けての道のりは決して簡単ではないかもしれませんが、福島県や地元自治体、福島県立医大をはじめ多くの方たちの尽力で少しずつ形が見えてきています。その熱心な姿勢には頭が下がるばかりです。本院としてこれからも双葉地域の診療体制構築に協力し、一日も早い復興を祈念しています。

院内がん登録 広島大学病院のがん診療の実績を更新しました

2018年の広島大学病院のがん診療の実績を広島大学がん治療センターのホームページで紹介をしています

院内がん登録とは?

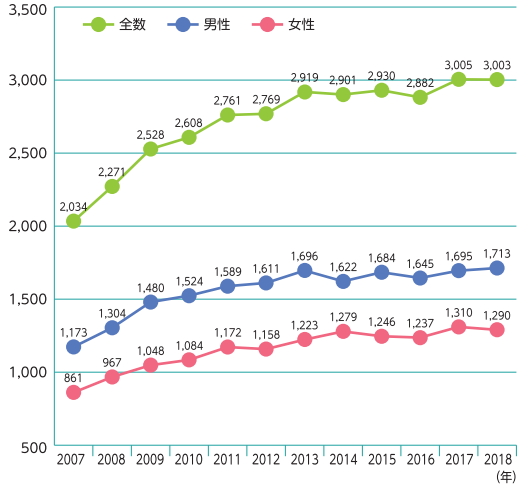
病院を受診された外来患者さん、入院患者さんを問わず全てのがんについて、診断・治療に関する情報を集め、整理・保管し、集計・解析をする仕組みです。がん患者さんとそのご家族に対して医療機関の選択を支援するための情報です。

国立がん研究センターの研修を修了した、がん登録実務者が登録をしています。

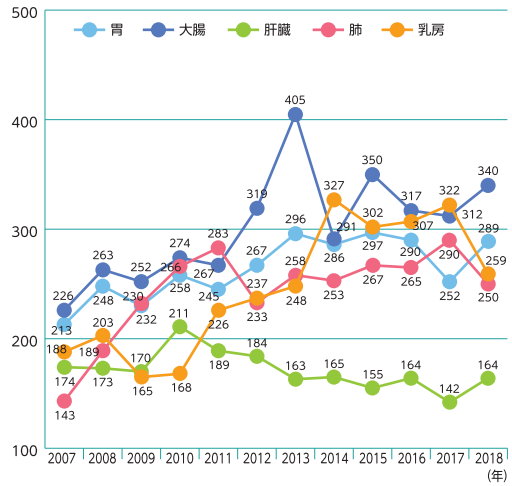
ホームページでは、部位別・ステージ別の治療件数なども掲載しています。

「広島大学病院　院内がん登録」で検索　**https://www.hiroshima-u.ac.jp/hosp/cancer/innaigan_touroku**

院内がん登録　登録件数 (2007年～2018年)

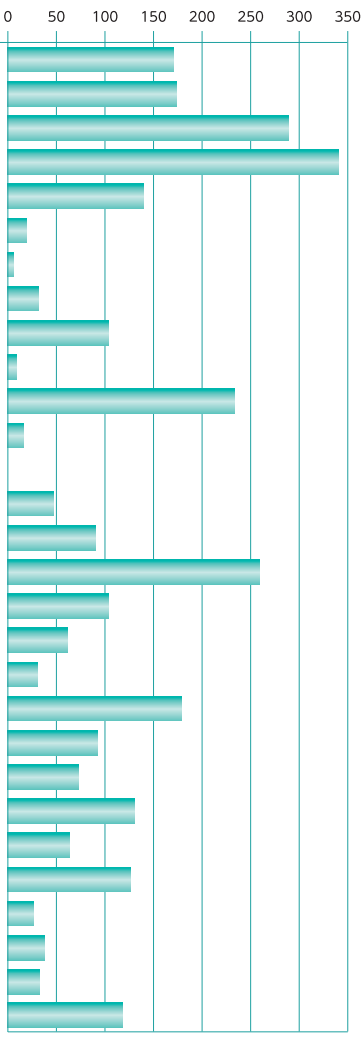


5大がん別・院内がん登録登録件数 (2007年～2018年)



部位別　院内がん登録登録件数 (2018年)

部位		登録件数
口腔・咽頭		171
食道		174
胃		289
大腸		340
肝臓	肝細胞癌	140
	肝内胆管癌	19
	その他	5
胆嚢・胆管		32
膵臓		104
喉頭		9
肺	非小細胞癌	233
	小細胞癌	16
	その他	―
骨・軟部組織		47
皮膚		90
乳房		259
子宮頸部		104
子宮体部		61
卵巣		31
前立腺		179
腎・他の尿路		92
膀胱		73
脳・中枢神経		130
甲状腺		63
リンパ腫		126
多発性骨髄腫		26
白血病		38
その他の造血器腫瘍		33
その他		118
合計		3,003



集計数値が3以下の場合は―(ハイフン)で表示

栄養管理部
情　報

みなさんは塩分を摂りすぎていませんか？

担当した管理栄養士

塩分を摂りすぎると血液中のナトリウム濃度が一時的に上がり、濃度を一定にするため血液量が増加し、血圧上昇、高血圧という状態になってしまいます。高血圧は、脳卒中や心臓病などの生活習慣病の発症リスクを高めるため、日頃から注意することが大切です。

1日の食塩の摂取基準（目標量）

日本人成人1人あたり、1日に 男性：**7.5g未満**　女性：**6.5g未満**

＊高血圧及び慢性腎臓病（CKD）の重症化予防のための食塩相当量：**6g未満/日**

＊平成29年国民健康・栄養調査によると、平均的な日本人の食塩摂取量は男性で10.8g、女性で9.1gです。

日本人の食事摂取基準2020より

減塩のコツ

だしの旨味を利用する

だしをしっかりと効かせることで、塩分が少なくても美味しく頂けます

減塩調味料を使用する

例）大さじ1杯当りの塩分量
濃い口しょうゆ：2.6g
↓ -1.1g
減塩しょうゆ：1.5g

酸味・香辛料を利用する

レモンや酢などの酸味、香辛料や香味野菜を使うことで味にアクセントが付きます

加工食品は控える

練り製品や漬物などは塩分含有量が多いため注意しましょう

かけるのではなくつける

醤油やソースなどの調味料は小皿にとり、「ちょん」とつけるだけにする

様々な料理を組み合わせる

煮魚　野菜炒め　ポテトサラダ

醤油味を重ねず、ケチャップ、マヨネーズ、酢、こしょうで味付けすると減塩になる

春キャベツたっぷりポトフ

栄養成分（1人分）
エネルギー 111kcal
たんぱく質 6.8g、塩分 1.4g

Point
野菜をたっぷり使用することで野菜のうまみが出るため、使用する調味料が少なくてもおいしくいただけます！

材料（2人分）

鶏もも肉	40g	にんじん	40g
春キャベツ	200g	水	2カップ
ジャガイモ	1個	コンソメ	1個
玉ねぎ	1/2個		

作り方

❶キャベツは5センチ角、ジャガイモ・鶏肉は一口サイズ、玉ねぎはくし形、にんじんはいちょう切りにする。
❷鍋に水とコンソメ、①のキャベツ・ジャガイモ・玉ねぎ・にんじんを入れ、15分煮る。
❸鶏肉を加えて5分煮る。
❹器に盛り、出来上がり。

病院で働く人にズームイン!

FILE 08 薬剤師

檜山（ひやま） 洋子（ようこ）（30歳）

薬剤師を目指したのは

親族が医療従事者でもともと医療的なことに関心はありました。現在、薬剤師が不在の医療機関もある中、薬剤師としてどんなことができるのだろうか、と興味を持ちました。大学での教育期間が4年制から6年制に移ったこともあって注目を集めており、自分が医療にどうかかわれるのか、薬のことを学んで生かしたいと思いました。

現在はどんなお仕事をしているのですか

専従の病棟薬剤師として高度救命救急センター、ICU、HCU、SICUを担当して丸2年になります。一番重要な業務は、医師や看護師と協同して行う薬物療法の投与設計です。救急搬送された際は、ご本人だけでなくご家族や救急隊からも情報提供していただき、持参薬などの情報や刻一刻と変化する患者さんの病態を考慮して投与設計を行います。意思疎通可能な患者さんには、服薬指導を通じて薬物療法への理解を高めていきます。病棟には、麻薬なども含めて150種類以上の薬剤が配置されており、その管理も重要な仕事です。

気を付けていることは

急性期やその後の病期に応じてより適した治療ができるように考えています。例えば、薬剤の投与回数も、薬剤の特性だけでなく患者さんの状態や生活なども常に留意して考えています。医師や看護師をはじめとした医療チームのメンバーとのコミュニケーションも大切で、さまざまな情報を交換しながら薬剤を選択していきます。薬の種類は膨大で、さらに日々新薬や新しい治療方法が世の中に出てきます。それらの情報を得るために勉強会などでの情報収集は欠かせません。

これからの抱負は

臨床経験が満5年になるので、認定薬剤師などの資格にも挑戦してみたいです。網羅的な情報も必要ですが、同時に専門的な分野も深めてスキルアップしたいと思っています。患者さんに寄り添い、一緒に働く多職種の方から頼られるような薬剤師を目指します。

催しのご案内 （2020年5月～6月）

がん治療を支える 患者サロン

婦人科がんの予防と治療　会場：臨床管理棟2階　2F1会議室

5月22日（金）　13:30～14:30　講師：産科婦人科医師　古宇家正

胃がんの予防と検診　会場：臨床管理棟3階　3F2会議室

6月18日（木）　13:30～14:30　講師：総合診療科医師　伊藤公訓

患者・家族が同じ目線で がん患者おしゃべり会

5月26日（火）　13:30～14:30

6月23日（火）　13:30～14:30

会場：診療棟2階　健康情報プラザ

※新型コロナウイルス感染症の感染状況などで、中止となる可能性があります。
いずれも問い合わせは ： がん相談支援センター ☎082－257－1525

ご意見やご感想は下記へお願いします。
広島大学病院　総務グループ　〒734-8551 広島市南区霞一丁目2番3号 ☎082－257－5418

20043